



パフォーマンスエクスプローラページの説明 Active IQ Unified Manager

NetApp
December 16, 2025

目次

パフォーマンスエクスペローラページの説明	1
Performance/ClusterExplorerへエシ	1
Performance/NodeExplorerへエシ	1
Performance/AggregateExplorerへエシ	2
Storage VM / Performance Explorerページ	2
パフォーマンス/ホリユウムマタハパフォーマンス/FlexGroupエクス	3
Performance/ConstituentVolumeExplorerへエシ	4
Performance/LUNExplorerへエシ	4
パフォーマンス/NVMeネエムスヘエスエクスペローラヘエ	5
Performance/Network Interface Explorerへエシ	5
Performance/PortExplorerへエシ	6
Performance/ClusterInformationへエシ	7
クラスタの属性	7
Performance/NodeInformationへエシ	8
ノード属性	8
フラッシュデバイス	9
Performance/AggregateInformationへエシ	10
アグリゲートの属性	10
Storage VM / Performance Informationページ	11
Storage VMの属性	11
パフォーマンス/ホリユウムマタハパフォーマンス/FlexGroupシ	13
ボリュームの属性	13
パフォーマンス/コンスティチュエントボリューム情報ページ	14
コンスティチュエントボリュームの属性	14
Performance/LUNInformationへエシ	15
LUNの属性	16
パフォーマンス/NVMeネエムスヘエスシヨウホウ	17
パフォーマンス/NVMeネエムスヘエスソク	17
Performance/NetworkInterface Informationへエシ	17
LIFの属性	18
Performance/PortInformationへエシ	18
ポートの属性	19

パフォーマンスエクスプローラページの説明

パフォーマンスエクスプローラのページを使用して、クラスタ、アグリゲート、ボリュームなど、使用可能な各ストレージオブジェクトに関する詳細なパフォーマンス情報を表示します。これらのページでは、すべてのオブジェクトの全体的なパフォーマンスを評価したり、オブジェクトのパフォーマンスデータを並べて比較したりできます。

Performance/ClusterExplorerへエシ

Performance/ClusterExplorerへエシには、Unified Managerで管理されているすべてのクラスタの詳細なパフォーマンス概要が表示されます。

Performance/ClusterExplorerへエシを使用すると、クラスタのパフォーマンスを追跡し、一定期間内にそのクラスタ内のオブジェクトを比較することができます。これは、クラスタのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。

表示と比較機能を使用して、クラスタのパフォーマンスを次の対象と比較できます。

- このクラスタ上のノード
- このクラスタのStorage Virtual Machine (SVM)
- このクラスタ上のアグリゲート

Performance/ClusterExplorerへエシを使用すると、次のことができます。

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- クラスタのパフォーマンスデータを追跡します
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング

Performance/NodeExplorerへエシ

Performance/NodeExplorerへエシには、クラスタ内のすべてのノードの詳細なパフォーマンス概要が表示されます。

Performance/NodeExplorerへエシを使用すると、一定期間のノードのパフォーマンスを追跡して比較できるため、ノードのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。

表示と比較機能を使用して、このノードのパフォーマンスを次の対象と比較できます。

- 同じクラスタ上の他のノード
- ノード上のアグリゲート
- ノード上のポート

Performance/NodeExplorerへエシを使用すると、次のことができます。

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- ノードのパフォーマンスデータを追跡して比較する
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング

Performance/AggregateExplorerへエシ

パフォーマンス/アグリゲートエクスプローラページには、クラスタ内のすべてのアグリゲートの詳細なパフォーマンス概要が表示されます。

Performance/AggregateExplorerへエシを使用すると、一定期間のアグリゲートのパフォーマンスを追跡して比較できるため、アグリゲートのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。



ルートアグリゲートはこのページに表示されません。

表示と比較機能を使用して、このアグリゲートのパフォーマンスを次の対象と比較できます。

- 同じノード上の他のアグリゲート
- 同じクラスタ上の他のアグリゲート
- アグリゲートが配置されているノード
- このアグリゲートを使用しているクラスタ上のすべてのノード
- このアグリゲートに配置されているボリューム

[パフォーマンス/アグリゲートエクスプローラ]ページでは、次の操作を実行できます。

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- アグリゲートのパフォーマンスデータを追跡して比較する
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング

Storage VM / Performance Explorerページ

Performance/SVMExplorerへエシには、クラスタ内のすべてのStorage Virtual Machine (SVM) の詳細なパフォーマンス概要が表示されます。

Storage VM / Performanceページでは、一定期間のSVMのパフォーマンスを追跡して比較できるため、SVMのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。

表示と比較機能を使用して、このStorage VMのパフォーマンスを次の対象と比較できます。

- 同じクラスタ上の他のSVM
- このSVM上のボリューム
- このSVM上のネットワークインターフェイス

Storage VM / Performanceページでは、次の操作を実行できます。

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- SVMのパフォーマンスデータを追跡して比較する
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング

パフォーマンス/ボリュームまたはパフォーマンス/FlexGroupエクス

このページには、クラスタ内のボリュームの詳細なパフォーマンス情報が表示されます。このページのタイトルは、FlexVol ボリュームとFlexGroup ボリュームのどちらを表示しているかによって異なります。

ボリュームまたはFlexGroup エクスプローラページでは、一定期間のボリュームのパフォーマンスを追跡して比較することができます。これにより、ボリュームのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整を行うことができます。



ルートボリュームはこのページに表示されません。

表示と比較機能の使用：

- FlexVol ボリュームの場合は、このボリュームのパフォーマンスを次の対象と比較できます。
 - 同じアグリゲート上の他のボリューム
 - 同じQoSポリシーグループ内の他のボリューム
 - ボリュームが配置されているアグリゲート
 - ボリュームが配置されているSVM
 - このボリューム上のLUN
- FlexGroup ボリュームの場合は、このFlexGroup のパフォーマンスを次の対象と比較できます。
 - FlexGroup が配置されているアグリゲート
 - FlexGroup が配置されているSVM
 - FlexGroup のコンスティチュエントボリューム

グラフに表示される統計は収集期間後に更新されます。この間隔はデフォルトでは5分です。セレクトタのView statisticsには、過去1時間の統計を平均化するオプションがあります。この機能を使用して、ネットアップの「パフォーマンス保証」プログラムの状況を確認するためにレイテンシグラフを表示することができます。

パフォーマンス/ボリュームエクスプローラまたはパフォーマンス/FlexGroupエクスプローラページでは、次の処理を実行できます。

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- ボリュームのパフォーマンスデータを追跡して比較する
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング

- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング
- System Managerを起動してボリュームの設定を変更します

Unified Managerに管理者ロールまたはストレージ管理者ロールでログインしている場合、およびONTAP 9.5以降を使用している場合は、ボリュームの設定*ボタンを使用できます。



データ保護 (DP) ボリュームについては、ユーザが生成したトラフィックのカウンタ値のみが表示されます。

Performance/ConstituentVolumeExplorerへエシ

選択したFlexGroup コンスティチュエントの詳細なパフォーマンス情報は、パフォーマンス/コンスティチュエントボリュームエクスペローラページに表示されます。

Performance/ConstituentVolumeExplorerへエシを使用すると、一定期間のコンスティチュエントのパフォーマンスを追跡して比較できます。これは、FlexGroup ボリュームとそのコンスティチュエントボリュームのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。

表示と比較機能を使用して、このコンスティチュエントボリュームのパフォーマンスを次の対象と比較できます。

- このコンスティチュエントボリュームが配置されているアグリゲート
- このコンスティチュエントボリュームが配置されているSVM
- コンスティチュエントボリュームが属するFlexGroup
- 同じアグリゲート上の他のボリューム

Performance/ConstituentVolumeExplorerへエシを使用すると、次の操作を実行できます。

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- コンスティチュエントのパフォーマンスデータを追跡して比較する
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング



データ保護 (DP) ボリュームについては、ユーザが生成したトラフィックのカウンタ値のみが表示されます。

Performance/LUNExplorerへエシ

Performance/LUNExplorerへエシには、クラスタ内のすべてのLUNのパフォーマンスの詳細な概要が表示されます。

Performance/LUNExplorerへエシを使用すると、一定期間のLUNのパフォーマンスを追跡して比較できるため、LUNのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。

表示と比較機能を使用して、このLUNのパフォーマンスを次の対象と比較できます。

- 同じボリューム上の他のLUN
- 同じQoSポリシーグループ内の他のLUN
- LUNが配置されているボリューム

グラフに表示される統計は収集期間後に更新されます。この間隔はデフォルトでは5分です。セレクトタのView statisticsには、過去1時間の統計を平均化するオプションがあります。この機能を使用すると、NetAppの「パフォーマンス保証」プログラムをサポートするレイテンシー・チャートを表示できます。

Performance/LUNExplorerへエシヲシツハイスヘノアクセス

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- LUNのパフォーマンスデータの追跡と比較
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング

ハフオオマンス/NVMeネエムスヘエスエクスプローラヘエ

ハフオオマンス/NVMeネエムスヘエスエクスプローラヘエシには、クラスタ内のすべてのNVMeネームスペースのパフォーマンスの詳細が表示されます。

ハフオオマンス/NVMeネエムスヘエスエクスプローラページでは、一定期間のNVMeネームスペースのパフォーマンスを追跡して比較することができます。このページは、ネームスペースのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。

表示と比較機能を使用して、このNVMeネームスペースのパフォーマンスを次のものと比較できます。

- ネームスペースが配置されているボリューム
- 同じボリューム上の他のネームスペース
- 同じSVM上の他のネームスペース

ハフオオマンス/NVMeネエムスヘエスエクスプローラヘエシヲシヨウシテ

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- ネームスペースのパフォーマンスデータを追跡して比較します
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング
- System Managerを起動してネームスペースの設定を変更します

ONTAP 9.5以降を使用している場合は、アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールでUnified Managerにログインしているときに「NVMeネームスペースの設定」ボタンを使用できます。

Performance/Network Interface Explorerへエシ

Performance/Network Interface Explorerへエシには、クラスタ内のすべてのLIFのパフォー

パフォーマンスの詳細な概要が表示されます。

Performance/NetworkInterface Explorerへエシを使用すると、一定期間のLIFのパフォーマンスを追跡して比較できるため、LIFのパフォーマンスのトラブルシューティングや微調整に役立ちます。

表示と比較機能を使用して、このネットワークインターフェイスのパフォーマンスを次のものと比較できません。

- 同じポート上の他のLIF
- 同じSVM上の他のLIF
- LIFが配置されているポート
- LIFが配置されているSVM

Performance/Network Interface Explorerへエシヲシツハイスヘノアクセス

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- LIFのパフォーマンスデータの追跡と比較
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング
- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング

Performance/PortExplorerへエシ

Performance/PortExplorerへエシには、クラスタ内のすべてのポートの詳細なパフォーマンス概要が表示されます。



パフォーマンスカウンタの値は物理ポートについてのみ表示されます。VLANまたはインターフェイスグループのカウンタ値は表示されません。

[Performance/Port Explorer]ページでは、特定の期間にポートのパフォーマンスを追跡して比較することができます。これにより、ポートのパフォーマンスをトラブルシューティングして微調整することができます。

表示と比較機能を使用して、このポートのパフォーマンスを次のものと比較できます。

- 同じノード上の他のポート
- ポートが配置されているノード
- ポート上のLIF



「LIFs on this port」オプションを使用してフィルタリングする場合、クラスタおよびデータLIFのみが表示されます。クラスタ間LIFは表示されません。

[パフォーマンス/ポートエクスプローラ]ページでは、次の操作を実行できます。

- しきい値に関連する問題とその詳細を表示します
- ポートのパフォーマンスデータを追跡して比較する
- しきい値に関連する問題の調査とトラブルシューティング

- パフォーマンスの問題の調査とトラブルシューティング

Performance/ClusterInformationへエシ

Performance/ClusterInformationへエシを使用すると、クラスタの物理属性と論理属性のリストを表示できます。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

クラスタの属性

- 管理ネットワーク・インターフェイス

クラスタ管理LIFの名前、およびLIFが現在使用可能かどうか (up) 、または使用できないか (down) 。

- * IP アドレス *

クラスタ管理LIFのIPv4アドレスまたはIPv6アドレス。

- * FQDN *

クラスタ管理LIFの完全修飾ドメイン名 (FQDN) 。

- * OSバージョン*

クラスタにインストールされているONTAP ソフトウェアのバージョン。



クラスタ内の各ノードに異なるバージョンのONTAP ソフトウェアがインストールされている場合は、最も低いバージョン番号が表示されます。Performance/NodeInformationページを確認し、各ノードにインストールされているONTAP ソフトウェアのバージョンを確認します。

- * シリアル番号 *

クラスタの一意的ID番号。

- モデル/ファミリー

クラスタ内のすべてのノードのプラットフォームモデル番号とモデルファミリー。

- 容量 (空き/合計)

クラスタで使用可能な合計ストレージ (GB) 、および現在使用可能なストレージ容量。

- 使用済み論理スペース

このクラスタのこのアグリゲートに格納されているデータの実際のサイズ。ONTAP のStorage Efficiencyテクノロジーによる削減を適用する前のサイズです。

- * 許可されたプロトコル *

このクラスタで処理できるすべてのプロトコルのリスト。使用可能なプロトコルは、FC / FCoE、iSCSI

、HTTP、NVMe、NDMP、NFS、CIFSです。

- * ノード * :

このクラスタ内のノードの数。この数をクリックすると、Performance/NodeInventoryページにノードを表示できます。

- * Storage VM *

このクラスタ内のSVMの数。数をクリックすると、パフォーマンス/SVMインベントリページにSVMを表示できます。

- * ネットワーク・インターフェイス *

このクラスタ内のLIFの数。数をクリックすると、パフォーマンス/LIFインベントリページにLIFを表示できます。

- 連絡先/場所

該当する場合、このクラスタに関する連絡先となるストレージ管理者の名前、およびクラスタの場所。

Performance/NodeInformationへエシ

Performance/NodeInformationページを使用して、ノードの物理属性と論理属性のリストを表示します。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

ノード属性

- * IP アドレス *

ノード管理LIFのIPv4アドレスまたはIPv6アドレス。

- * FQDN *

ノード管理LIFの完全修飾ドメイン名 (FQDN) 。

- * OSバージョン*

ノードにインストールされているONTAP ソフトウェアのバージョン。

- モデル/ファミリー

ノードのプラットフォームモデル番号。

- 容量 (空き/合計)

ノードで使用可能な合計ストレージ容量 (GB) 、および現在使用可能なストレージ容量。

- * クラスタ *

このノードが属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへエシにクラ

スタの詳細を表示できます。

- * HAパートナー*

HAパートナーノードの名前（該当する場合）。名前をクリックすると、Performance/NodeExplorerへエシにパートナーノードの詳細を表示できます。

- * アグリゲート *

このノード上のアグリゲートの数。数をクリックすると、パフォーマンス/アグリゲートインベントリへエシにアグリゲートを表示できます。



インベントリページにルートアグリゲートが含まれていないため、ここに記載する数値がパフォーマンス/アグリゲートインベントリページの数値と一致しない可能性があります。

- * ポート * :

このノード上のポートの数。番号をクリックすると、[Performance/Ports Inventory]ページにポートが表示されます。



インベントリページにはノード管理ポートがないため、ここに記載されている番号はパフォーマンス/ポートインベントリページの番号と一致しない場合があります。

- 連絡先/場所

該当する場合は、このノードに関する連絡先の管理者の名前とノードの場所。

- コア数/速度

使用可能な場合は、コントローラのCPUコアの数とCPUコアの速度。

- ラム

使用可能な場合は、コントローラで使用可能な合計メモリ。

フラッシュデバイス



Flash Cache のデータは、ノードに Flash Cache モジュールがインストールされている場合にのみ表示されます。

- スロット番号

Flash Cacheモジュールが取り付けられているスロットの番号。

- * ステータス *

モジュールの動作ステータス。有効な値：

- オンライン
- offline_failed

- offline_threshold
- モデルファミリー
モジュールのモデル番号。
- ファームウェアリビジョン
モジュールにインストールされているファームウェアのバージョン。
- * 容量 *
設置されているFlash Cacheモジュールのサイズ。

Performance/AggregateInformationへエシ

Performance / Aggregate Informationページでは、アグリゲートの物理的な属性と論理的な属性のリストを確認できます。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

アグリゲートの属性

- * タイプ *
- アグリゲートのタイプ。
 - HDD
 - ハイブリッド
HDDとSSDの組み合わせですが、Flash Poolは有効になっていません。
 - ハイブリッド (Flash Pool)
HDDとSSDの組み合わせで、Flash Poolが有効になっています。
 - SSD の場合
 - SSD (FabricPool)
SSDとクラウド階層の組み合わせです
 - VMDisk (SDS)
仮想マシン内の仮想ディスク
 - VMディスク (FabricPool)
仮想ディスクとクラウド階層の組み合わせです
 - LUN (FlexArray)

- * クラスタ *

アグリゲートが属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへエシにクラスタの詳細を表示できます。

- * ノード *

アグリゲートのディスクが属するノードの名前。名前をクリックすると、Performance/NodeExplorerへエシにノードの詳細を表示できます。

- * Flash Pool *

Flash Poolアグリゲートの場合は「はい」と「いいえ」のいずれかです

Flash Poolアグリゲートは、SSDとHDDの両方で構成されるハイブリッドアグリゲートです。

- * FabricPool *

FabricPool アグリゲートの場合は「はい」と「いいえ」のどちらですか

FabricPool アグリゲートは、SSDとクラウド階層の両方で構成されるアグリゲートです。

- 非アクティブなデータレポート

このアグリゲートでInactive Data Reporting機能が有効になっているかどうか。有効にすると、このアグリゲートのボリュームのパフォーマンス/ボリュームインベントリページにコールドデータの量が表示されます。

このフィールドの値は、ONTAP のバージョンが非アクティブデータレポートをサポートしていない場合は「N/A」です。

- 使用済み論理スペース

このアグリゲートに格納されているデータの実際のサイズ。ONTAP のStorage Efficiencyテクノロジーによる削減を適用する前のサイズです。

Storage VM / Performance Informationページ

Storage VM /パフォーマンス情報ページを使用して、SVMの設定済み属性のリストを表示します。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

Storage VMの属性

- * IP アドレス *

このSVMに接続されているすべてのインターフェイスのIPv4アドレスまたはIPv6アドレス。

- * IPspace *

このSVMが配置されているIPspace。

- ドメイン名

このSVMに接続されているインターフェイスの完全修飾ドメイン名 (FQDN)。

- サービスタイプ

SVMのタイプ。

指定できる値は、クラスタ全体の管理SVMには「Admin」、IPspaceにはクラスタレベルの通信には「System」、データ提供用SVMには「Data」、ノード管理SVMには「Node」です。

- 容量 (空き/合計)

SVMで使用可能な合計ストレージ容量、GB、および現在使用可能なストレージ容量。

- * クラスタ *

SVMが属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへエシにクラスタの詳細を表示できます。

- * ボリューム *

SVM内のボリュームの数。数をクリックすると、パフォーマンス/ボリュームインベントリページにボリュームを表示できます。

- * ネットワーク・インターフェイス *

SVMが使用できるネットワークインターフェイスの数。

- * データ・ネットワーク・インターフェイス *

SVMが使用できるデータネットワークインターフェイスの数とタイプ。

- 使用できるボリュームタイプ

SVMで作成できるボリュームのタイプ。

SVMには、1つ以上のFlexVol またはFlexGroup ボリュームを含めることができます。

- * 許可されたプロトコル *

このSVMで処理できるすべてのプロトコルのリスト。使用可能なプロトコルは、FC / FCoE、iSCSI、HTTP、NDMP、NVMeです。NFS、CIFSです。

- * ポートセット *

FCPまたはiSCSIプロトコル用に定義されている場合、このSVMに割り当てられているポートセット。

ハフオオマンス/ホリユウムマタハハフオオマンス/FlexGroup シ

このページでは、ボリュームの物理的な属性と論理的な属性のリストを確認できます。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。このページのタイトルは、FlexVol ボリュームとFlexGroup ボリュームのどちらを表示しているかによって異なります。

ボリュームの属性

• * タイプ *

ボリュームのタイプ（読み書き可能（rw）またはデータ保護（DP））。

• * スタイル *

ボリュームの形式。FlexVol またはFlexGroup のいずれかです。



Unified Managerのパフォーマンスページでは、Infinite Volumeがサポートされません。

• * クラスタ *

このFlexVol またはFlexGroup ボリュームが属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへエシにクラスタの詳細を表示できます。

• * アグリゲート *

このFlexVol ボリュームが配置されているアグリゲートの名前、またはこのFlexGroup ボリュームが配置されているアグリゲートの数。

FlexVol ボリュームの場合は、名前をクリックすると、パフォーマンス/アグリゲートエクスプローラのページにアグリゲートの詳細を表示できます。FlexGroup ボリュームの場合は、数値をクリックすると、このFlexGroup ボリュームで使用されているアグリゲートをPerformance/AggregateInventoryページに表示できます。

• * Storage VM *

このFlexVol またはFlexGroup ボリュームが属するSVMの名前。名前をクリックすると、Performance/SVMEplorerへエシにSVMの詳細を表示できます。

• * 階層化ポリシー *

ボリュームに対して設定されている階層化ポリシー。このポリシーは、ボリュームがFabricPool アグリゲートに導入されている場合のみ適用されます。使用可能なポリシーは次のとおりです。

- なしこのボリュームのデータは常に高パフォーマンス階層に残ります。
- Snapshotのみ：Snapshotデータのみがクラウド階層に自動的に移動されます。それ以外のデータはすべて高パフォーマンス階層に残ります。
- バックアップ：データ保護ボリュームで、転送されたユーザデータは最初はすべてクラウド階層に配置されますが、その後、クライアントによるホットデータの読み取りが多い原因を高パフォーマンス

階層に移動できます。

- 自動：このボリューム上のデータは、ONTAP がデータが「ホット」または「コールド」と判断した場合に、パフォーマンス階層とクラウド階層の間で自動的に移動されます。
- すべて：このボリュームのデータは常にクラウド階層に残ります。

• * RAID タイプ *

このボリュームが配置されているアグリゲートのパフォーマンス階層で使用されている冗長性のタイプ。有効なタイプは次のとおり

- RAID 0
- RAID 4
- RAID-DP
- RAID-TEC



FlexGroup ボリュームの場合は、コンスティチュエントボリュームが異なるRAIDタイプのアグリゲートに配置されている可能性があるため、値「該当なし」が表示されます。

• 容量（空き/合計）

ボリューム上で使用可能な合計ストレージ容量（GB）、および現在使用可能なストレージ容量。

• 使用済み論理スペース

このボリュームに格納されているデータの実際のサイズ。ONTAP のStorage Efficiencyテクノロジーによる削減を適用する前のサイズです。

パフォーマンス/コンスティチュエントボリューム情報ページ

Performance / constituentVolume Informationページを使用して、FlexGroup 構成要素ボリュームの物理属性と論理属性のリストを表示します。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

コンスティチュエントボリュームの属性

• * タイプ *

コンスティチュエントのタイプ。読み取り/書き込み（RW）とデータ保護（DP）のいずれかです。

• * スタイル *

ボリュームの形式。FlexGroup ボリュームのコンスティチュエントボリュームです。

• * クラスタ *

このFlexGroup コンスティチュエントボリュームが属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへエシにクラスタの詳細を表示できます。

• * 集計 *

このFlexGroup コンスティチュエントボリュームが配置されているアグリゲートの名前。名前をクリックすると、Performance/AggregateExplorerへエシにアグリゲートの詳細を表示できます。

- * FlexGroup *

このコンスティチュエントが属するFlexGroup ボリュームの名前。名前をクリックすると、パフォーマンス/FlexGroupエクスプローラのページにFlexGroup ボリュームの詳細を表示できます。

- * Storage Virtual Machine *

このFlexGroup コンスティチュエントボリュームが属するSVMの名前。名前をクリックすると、Performance/SVMExplorerへエシにSVMの詳細を表示できます。

- * 階層化ポリシー *

ボリュームに対して設定されている階層化ポリシー。このポリシーは、ボリュームがFabricPool アグリゲートに導入されている場合にのみ適用されます。使用可能なポリシーは次のとおりです。

- なしこのボリュームのデータは常に高パフォーマンス階層に残ります。
- Snapshotのみ：Snapshotデータのみがクラウド階層に自動的に移動されます。それ以外のデータはすべて高パフォーマンス階層に残ります。
- バックアップ：データ保護ボリュームで、転送されたユーザーデータは最初はすべてクラウド階層に配置されますが、その後、クライアントによるホットデータの読み取りが多い原因を高くパフォーマンス階層に移動できます。
- 自動：このボリューム上のデータは、ONTAP がデータが「ホット」または「コールド」と判断した場合に、パフォーマンス階層とクラウド階層の間で自動的に移動されます。
- すべて：このボリュームのデータは常にクラウド階層に残ります。

- * RAID タイプ *

このコンスティチュエントが配置されているアグリゲートで使用されている冗長性タイプ。有効なタイプは次のとおり

- RAID 0
- RAID 4
- RAID-DP
- RAID-TEC

- 容量（空き/合計）

コンスティチュエントで使用可能な合計ストレージ容量（GB）、および現在使用可能なストレージ容量。

Performance/LUNInformationへエシ

Performance/LUNInformationへエシを使用すると、LUNの物理属性と論理属性のリストを表示できます。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

LUNの属性

- **WWN**

LUNのWWN (World Wide Name ; ワールドワイド名) 。

- * パス *

LUNの完全パス。例： /vol/vol1/lun1。

- 位置合わせ

LUNのアライメント状態が表示されます。有効な値は次のとおり

- マップされていません
- アライメント済み
- ミスアライメント状態です
- ミスアライメントの可能性があり
- 不確定

- 容量 (空き/合計)

LUN上で使用可能な合計ストレージ容量 (GB) 、 および現在使用可能なストレージ容量。

- * 音量 *

LUNが属するボリュームの名前。名前をクリックすると、パフォーマンス/ボリュームエクスプローラのページにボリュームの詳細を表示できます。

- * Storage Virtual Machine *

LUNが属するSVMの名前。名前をクリックすると、Performance/SVMExplorerへエシにSVMの詳細を表示できます。

- * ノード *

LUNが配置されているノードの名前。名前をクリックすると、Performance/NodeExplorerへエシにノードの詳細を表示できます。

- * クラスタ *

LUNが属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへエシにクラスタの詳細を表示できます。

- * 状態 *

LUNの状態。有効な状態は、online、offline、nvfail、space-error、foreign-lun-errorです。

- マップ済み

LUNがイニシエータグループにマッピングされているか (true) 、 マッピングされていないか (false) を

示します。

パフォーマンス/NVMeネームスペースの表示方法

パフォーマンス/NVMeネームスペースの表示方法へは、パフォーマンス/パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

パフォーマンス/NVMeネームスペース

- * クラスタ *

名前空間が属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへはクラスタの詳細を表示できます。

- 容量 (空き/合計)

名前空間の合計ストレージ容量と現在使用可能なストレージ容量。

- * ノード *

名前空間が配置されているノードの名前。名前をクリックすると、Performance/NodeExplorerへはノードの詳細を表示できます。

- * パス *

NVMe名前空間の完全パス。例: /vol/vol1/namespace1。

- * 状態 *

名前空間の状態。有効な状態は、オンライン、オフライン、NVFail、スペースエラーです。

- サブシステム

名前空間のサブシステム。

- * Storage Virtual Machine *

名前空間が属するSVMの名前。名前をクリックすると、Performance/SVMExplorerへはSVMの詳細を表示できます。

- * 音量 *

名前空間が属するボリュームの名前。名前をクリックすると、パフォーマンス/ボリュームエクスプローラのページにボリュームの詳細を表示できます。

Performance/NetworkInterface Informationへは

設定されているLIFの属性のリストを表示するには、Performance/NetworkInterface

Informationページを使用します。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

LIFの属性

- * IP アドレス *

LIFに割り当てられているIPv4またはIPv6アドレス。1つのLIFに複数のIPアドレスを割り当てることができます。

- * 役割 *

ロールは、LIFを介してサポートされるトラフィックの種類を決定します。

LIFには次のいずれかのロールを指定できます。

- データ
- クラスタ
- ノード管理
- クラスタ間

- * フェイルオーバーグループ *

LIFに割り当てられているフェイルオーバーグループの名前。

このフィールドはネットワークLIFにのみ適用され、SAN (FC / iSCSI) LIFとNVMe LIFには適用されません。

- * フェイルオーバーポリシー *

LIFに割り当てられているフェイルオーバーポリシーの名前。

このフィールドはネットワークLIFにのみ適用され、SAN (FC / iSCSI) LIFとNVMe LIFには適用されません。

- * ホームポート *

このインターフェイスのホームポートとして定義されているノードとポートの名前。名前をクリックすると、Performance/Port Explorerページにポートの詳細を表示できます。

- * 現在のポート *

インターフェイスが現在ホストされているノードおよびポートの名前。名前をクリックすると、Performance/Port Explorerページにポートの詳細を表示できます。

Performance/PortInformationへエシ

[Performance/Port Information]ページでは、ポートの物理属性と論理属性のリストを表示できます。この情報は、パフォーマンス関連の疑問を解決するのに役立ちます。

ポートの属性

- **WWN**

ポートのWWN (World Wide Name) 。

- * ノード *

物理ポートが配置されているノードの名前。名前をクリックすると、Performance/NodeExplorerへエシにノードの詳細を表示できます。

- * クラスタ *

ポートが属するクラスタの名前。名前をクリックすると、Performance/ClusterExplorerへエシにクラスタの詳細を表示できます。

- 動作速度

ポートの実行速度として設定されている実際の速度。

FCPポートは自動検出され、「Auto」と表示されます。

- * 役割 *

ネットワークポートの機能。「データ」または「クラスタ」のいずれかです。

FCPポートにはロールを指定できないため、このフィールドは表示されません。

- * タイプ *

ポートタイプ (NetworkまたはFCP (ファイバチャネルプロトコル)) 。

- * 状態 *

ポートのリンクステータス。

- ネットワークポートの場合、アクティブなポートは「up」として表示され、非アクティブなポートは「down」として表示されます。
- FCPポートの場合は'アクティブなポートは[Online]として表示され'非アクティブなポートは[Link not connected]として表示されます

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。